

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ボランティア地域介護予防支援事業助成金(お達者倶楽部)	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			Tel 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢者が寝たきり又は認知症にならないように支援するために、共助の考え方をもち活動している地域の団体等が市と連携及び協力して、家に閉じこもりがちになっている高齢者に、社会参加の場を提供することを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としているか)	対象者: おおむね65歳以上の要介護又は外出の機会が少ない高齢者 対象人数: おおむね5人以上の高齢者の参加を必要とする。実施団体人数は委員3人以上とする。	対象とした数	8	団体
		実際に 利用した数	203	人

活動の内容	(何を したか)	地域のボランティア団体等が月1回以上1年を通して自宅等において近隣の高齢者5人以上に対して、昼食会やお茶のみ会、カラオケなど地域交流を行う。原則として午前10時～午後3時 対人交流、社会参加を目的とし集団での交流を中心に参加者の自主性を尊重した交流を図り、要介護状態になることを予防する。							
		活動実績	項目名	お達者倶楽部運営 ボランティア数	56	項目名	お達者倶楽部数	103	項目名
			-----	単位	人		-----	単位	人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	500	361	1,189	3.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	お達者倶楽部設置数	地域数/目標数(生活圏域)	14	8	57.1
			-----	-----	-----
			単位	ヶ所	単位
				ヶ所	単位
					%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化		改善余地なし その他〔 〕 終了	
		予算	現状どおり		* 増額 減額 終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 040400 TEL 2998-9120
事業コード 040417	ボランティア地域介護予防支援事業助成金(お達者倶楽部)	
開始年度 平成 13 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ 高齢者支援グループ

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	お達者倶楽部事業実施要綱
関連・類似事業		
総合計画の体系	政策 第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち 施策 3節 高齢者福祉 中柱 1 いきいきと暮らすための支援・サービスの充実 小柱 (5) 福祉活動団体への支援	
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位 実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 A		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		
コード 1111	市民の知りたい情報の提供	コード 1131 計画段階からの市民参加の充実
事業開始の背景	閉じこもりを防ぎ地域でいきいきと生活するため、介護予防や認知症予防のために友人をつくり高齢者がいつまでも健康に暮らせるよう配慮していく必要がある。あわせて、地域のボランティアが高齢者と交流を図ることによって介護予防効果が期待されるため。	

③事業の内容	
目的(何のために行うか、具体的)	高齢者が寝たきり又は認知症にならないように支援するために、共助の考え方をもち活動している地域の団体等が市と連携及び協力して、家に閉じこもりがちになっている高齢者に、社会参加の場を提供することを目的とする。
対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 対象者: おおむね65歳以上の要援護又は外出の機会が少ない高齢者 対象人数: おおむね5人以上の高齢者の参加を必要とする。実施団体人数は委員3人以上とする。
対象数	単位
平成 18 年度	8 団体
平成 19 年度	8 団体
利用数	単位
平成 18 年度	103 人
平成 19 年度	203 人
事業の具体的な内容及び実施方法	
地域のボランティア団体等が月1回以上1年を通して自宅等において近隣の高齢者5人以上に対して、昼食会やお茶のみ会、カラオケなど地域交流を行う。原則として午前10時～午後3時 対人交流、社会参加を目的とし集団での交流を中心に参加者の自主性を尊重した交流を図り、要介護状態になることを予防する。	

④前年評価と改善点	
平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
平成19年度中に改善した点	
19年度末で廃止となる老人集会所補助事業に伴い、要綱改正し所沢市お達者倶楽部事業助成要綱を作成した。具体的には、参加登録者数により助成額を60,000円～150,000円(年額)に増額して支給することで活動内容の充実を図った。	

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		500	840	2,400
	決算 (見込み含む)		361	480	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	0.09 人	828	0.22 人	2,067
	公債費				
	事業費合計		1,189	2,547	
財源内訳	一般財源		1,189	2,547	456
	国・県支出金				900
	受益者負担金				
	市債				
	その他				1,044
市民一人当たり(単位:円)			3.5	7.5	
利用数一単位あたり(単位:円)			11,543.7	12,545.2	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	お達者倶楽部運営ボランティア数	運営スタッフ数	人	56	64	85	
		お達者倶楽部数	参加者数	人	103	203	250	
	成果分析	お達者倶楽部設置数	地域数/目標数(生活圏域)	目標値	14	14	14	
実績				8	8		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
% 達成率				57.1	57.1		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市・団体	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	日常生活圏域の14地区に設置するように倶楽部の数を増やしていく。老人集会所補助事業の廃止に伴い、会食会やいきいき活動が、継続して行えるよう活動内容を充実できるようにフォローしていく。				
評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定		日常生活圏域14地区にすべて設置		平成21年3月
			設置のない生活圏域の6箇所への設置を促す。		
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
地域コミュニティの衰退や家族関係の変化等により高齢者の外出機会が少なくなることから、社会参加の場を確保し、閉じこもり予防とあわせて地域での支援体制づくりの一助となるお達者クラブの必要性は大きい。					
評価日	記入者職氏名 高齢者支援課 主幹 美甘寿規				

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業					
	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業					
評価日	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					
	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し				計画コード
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し				計画コード
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						